

## J Aグループ北海道への結集に関する特別決議（案）

私たち J Aグループは、組合員が自発的に組織した協同組合として、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯と他者への配慮を原則に、組合員の営農と生活を守り、安全・安心な農畜産物の提供と地域社会への貢献のための活動を行ってきた。

日本社会は、聖域なき構造改革を推進してきた結果、市場原理主義が強まり不公平、格差が拡大しており、助け合い（相互扶助）の精神にもとづき共生の社会をめざす協同組合に対する期待はますます大きくなっている。

このような状況の中で、私たちは、協同組合理念を再認識し、自らが J Aおよび連合会を運営しているという意識を持って、J Aおよび連合会の運営事業・活動等に積極的に参加・結集し、J Aグループ北海道の組織力を高め、最大限の機能発揮を図ることとする。

また、農業生産の現場が危機的状況にある中で、北海道の食料・農業・農村・地域を守るため、J Aグループ北海道は一致団結して、農家組合員の声を国政に反映させるための運動を道民の理解をえて展開する。

以上、決議する。

平成21年11月20日

第26回 J A北海道大会